

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311

いつも大変お世話になりありがとうございます。

いつまで残暑が続くのかと思っていたら、10月になった途端に涼しくなった…というか寒くなってきた大阪です。皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

ずっと夏服で過ごしていたのに、急に涼しくなってしまって衣替えが間に合わず、夏服の上に重ね着しながら、鳥取観光にいつてきました。

昨年知り合った鳥取の石好き仲間たちに、砂丘へ連れて行ってもらいました。鳥取には昨年も何度か行ったのですが、砂丘に行きたいという「暑すぎて命が危険」「寒すぎて遭難する」と毎回却下され、ベストシーズンの今回ようやく念願が叶いました。小学校1年から高校3年まで、年に1度の遠足が砂丘だったり、バイト終わりにしょっちゅう砂丘で遊んだりした地元民たちは、今となっては遠方からの来客でもない限り砂丘には行かないし、行っても眺めるだけでよくて、歩きたくはないそうです。「砂丘を歩きたい」といったら「じゃあ、ビジターセンターで待ってるね!」と、言われました。(笑)

馬の背と呼ばれる一番高い丘ではなく、その隣の低いほうを目指して歩きました。砂が細かくて深いので、普段は足が沈んで歩きにくいのだそうですが、この日は数日前に降った雨の影響で、砂の下の方がほどよく湿って固まって、いつもより歩きやすかったようです。さくさくと丘を登ることができました。

丘の向こうには荒々しい日本海が広がります。美しい光景にみとれていると、強風が吹き始めました。砂粒が風で吹き付けられて、顔や腕など露出している部分はちくちく痛気持ちよかったです。風上に背を向けて、眼に砂が入らないようにしながら、風が足跡を消し、風紋を作る様を眺めていました。砂と海と空と風、シンプルながらもいつまでもぼーっと見ていたいような風景でした。

「とにかく砂が!!」との噂通り、あらゆるところが砂まみれ。靴や洋服はもちろんのこと、耳の穴、ポケット・カバン・手帳の中、あらゆる隙間に砂が紛れ込み、頭皮もザラザラ砂まみれでした!

今度砂丘に行くときは、砂漠の民の格好を真似するとよいかもしれないね!また、行こうね!なんて話をしながら、砂丘の次は、白兎海岸へ。

ここは文字通り、因幡の白うさぎの舞台となった海岸です。風も強いし波も高い!瀬戸内海では決してお目にかかれない荒波が、ザバ〜ン ザバ〜ンと打ち寄せてきます。砂浜のあちこちに、1cm~5cmほどの白い丸い物体が落ちていました。オブラートのようにカサカサ軽いそれは、乾燥したギンカクラゲ。まだ乾ききっていない青い触手を見てクラゲとわかりましたが、乾ききったものは銀貨というよりは牛乳瓶のふたの様でした。

海外や遠くにも行きたいけれど、近場の旅でもまだ知らないことが沢山あります。新しい経験や初めての物に出会えるのが、旅の楽しいところですね!

急な気温の変化に戸惑っていますが、ようやく涼しくなって身体の方はすこしホッとしたようにも思います。皆さまもどうぞお体をお大事に、健やかな秋をお過ごしくださいませ。



空と海と砂、そして風の造形美



生乾きのギンカクラゲ



白兎海岸

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願ひいたします。